「第３次胎内市総合計画基本構想（骨子）（案）」に対するご意見及び胎内市の考え方

No.	該当箇所・項目	ご意見	市の考え方
1	P1　計画策定の趣旨	１．参考までに第２次計画の趣旨文を「○○を△△する」形で要約すると、 （１）重点的に取り組むべき事項を明確にする （２）市民と市政の協働のまちづくりを促進する （３）行政評価の中で施策の効果検証や改善を実施しやすくする となり趣旨が明確です。 ２．第３次計画の趣旨文は「○○を△△する」形での要約ができません。「今後 10 年間で目指す将来像とその実現に向けて、「協働」を基盤としながら、多様な主体が地域課題や将来像を共有し、それぞれの知識や強みを生かして、新たな価値を共に創り出す「共創」のまちづくりを進めていくため、第３次胎内市総合計画」を策定します」は判読が難しい。 ① 本文は「共創」という概念を説明するための文章で趣旨説明になり得ないと思います。「共創」なる文言を用いたいのなら後段の項で説明すれば良いと思います。 ② 第２次計画を引き継ぐなら「協働」は「市民協働」とすべきです。 ③ 更に述べれば第２次計画の趣旨文の方が明解で分かり易い。	明確に伝わらないことも心配されるので丁寧に説明しています。 表現方法等については、ご意見も参考とさせていただきます。

No.	該当箇所・項目	ご意見	市の考え方
2	P2　計画の構成・期間	計画期間の表中に和暦と西暦を併記したことは大変良いと思います。一部、文書内にも併記があって分かりやすい。 更に言えば全て西暦に統一してもらいたい。	計画全体として和暦とするか又は西暦との併記とするか、ご意見を参考に検討いたします。
3	P4　基本理念（まちの将来像）	①　基本理念は現在進行形なので「まちの将来像」の表記は削除すべきです。	まちの将来像と捉えることもできる「～のまち」という形で基本理念を表現しています。 「理念」と聞いて難解な印象を持たれることがないよう、また、目指すところを分かりやすく表現するため「基本理念（まちの将来像）」としています。
		②　名詞を動詞化した「共創する」・「循環する」は言葉として違和感があります。はやりの新語として用いたいのなら単なる名詞「共創」「循環」の方が良いと思います。	ご意見のとおり「共創する」「循環する」という表現については、言葉としての自然さや分かりやすさに配慮する必要があると認識しておりますが、まちづくりにおいて実践していく姿勢や、目指す方向性を表現するという意図から、「共創する」「循環する」というキーワードで物事を進めていくこととしています。
4	P5　３つの視点	①　市民に定着してきたと思われる「市民協働」は引き継ぐべきです。	ご指摘のとおり「市民協働」は継承していくことを前提としております。その概念を基本としつつ、さらに一歩進んだ「共創」によるまちづくりを推進していくため、３つの視点の一つに「共創」を取り入れたものです。

		②　「歴史と誇りをつむぐ」は新しい視点なので大変良いと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。
		③　新たな「共創」「循環」の概念は、第２次総合計画の「市民協働」「未来への投資」「選択と集中」を包括するので代替させる必要がないと思います。どうしても盛りたいのであれば「６つの視点」とすれば良いと思います。視点（概念）は細分化したほうが分かり易いと思います。	このたび設けた「共創する」「循環する」「歴史と誇りをつむぐ」につきましては、胎内市の誕生から続く基本理念「自然が活きる、人が輝く、交流のまち“胎内”」の考えを補完し、市民の皆様とこれからの持続可能なまちづくりを進めていくための基本的な考え方（視点）となります。 第２次総合計画に掲げる「市民協働」「選択と集中」「未来への投資」は、政策の計画・実行・改善において引き続き重要な視点となりますが、基本理念とは異なる視点として整理しています。
5	P7　土地利用構想	①　趣旨がわかりません。	人口減少が進む中で、土地という限られた貴重な公共資源をいかに効率的・計画的に活用するかが求められています。安全な生活空間の確保、市街地環境の整備、産業機能の集積、自然環境や景観の保全など、バランスの取れた土地利用を推進していくための方向性を示すものとして掲げています。
		②　凡例色彩とマップ色彩が一致しない等、マップ解読ができません。	分かりやすい図となるよう、色彩等を修正いたします。

No.	該当箇所・項目	ご意見	市の考え方
6	P8～9　まちづくりの目標 （基本政策の方向性）	①　目指す方向性の明確化のため「○○を△△する」形の箇条書きにした 方が良いと思います。 例えば「妊娠・出産から子育て期まで、ライフステージに応じた切れ目のない支援を行い、安心して健やかに暮らせる環境を整えるとともに、地域全体で子どもの成長を支え、一人ひとりの個性や可能性を育みます」 は、下記のような箇条書きにした方が良いと思います。 （１）　ライフステージに応じた切れ目のない支援を行います （２）　安心して健やかに暮らせる環境を整えます （３）　地域全体で子どもの成長を支えます （４）　一人ひとりの個性や可能性を育みます	ご意見を参考としつつ、総括的かつわかりやすい文章となるよう留意してまいります。
		②　やって当然、当たり前的な事項（総花的）ではなく当市の現実に対応した、絶対やるべき事項、やらねばならない事項に重点化（特化）した方が良いと思います。	政策の方向性・枠組みを示すという基本構想の性格上、各分野において包括的な構成としていますが、全て重要な事項となっています。
		③　例えばライフステージやシビックプライドのようなカタカナ語は出来るだけ避けてもらいたい	計画全体を通して、誰が見ても分かりやすい表現となるよう、留意してまいります。